

チームメンバー(チーム：ゆいまーる(支えあいの輪) 石川、嵩元、金城、大城)

取り組むべき真の課題(自治会がやっていることと、住民が「やってほしい」と思うことがずれている。)

最初の課題

- 自治会加入率の低下 25%
- 関係人口の減少による支え合う繋がり低下・希薄
- 自治会の役割や目的の不明瞭
- 関わるきっかけが不明瞭

データ収集をして見えてきたこと

- 自治会ごとの加入率の差
- 民生委員の減少
- 自治会活動に関心があることもみえた
- 住民がお互いに助け合いが必要と思う「地域」範囲：65%が自治会の範囲
- 地域関係の接点として、保育所の広がりもみえた
- 地域包括支援センターの少なさ

参照したデータ

- 自治会別世帯数の推移 (P97)
- 民生委員・児童委員数の推移 (P101)
- 「地域における助け合い」への関心について(P105)
- 保育所一覧
- 幼稚園一覧データ
- ソーシャルワーカー人数

課題解決のためのアイデア(支え合いをつなげ育てる地域のプラットフォーム)

- 自治会をプラットフォームとした地域内の支え合い活動（見守り、助け合い、情報共有）：ファミサポ×待機児童
- 住民が主体的に動ける仕組み・場（共助の場）：防災、買い物支援、地域アンケート

アイデアに至るまでの経緯

どうしてこれが必要なのか

- ニーズのミスマッチにより、加入率の低下
- 行政コストの増加
- 地域のつながりの減少、住民にとって不利益（防災、支え合い）